



能楽

英作文コンクール



能楽を世界に広める為には、
どのような方法があるか

◆作品募集のご案内◆

能楽は、650年余の歴史をもつ日本を代表する伝統芸能です。世界ブランドとして海外からも注目され、2020年オリンピック・パラリンピックを控えた今、その注目度は更に高まっています。公益社団法人能楽協会ではこの度、「能楽の国際化」をテーマとした英作文を募集致します。多くの方が能楽に興味を持ち、魅力を発見して下さる機会になればと考えております。伝統芸能「能楽」と時代が求める「国際化」について、さまざまな観点からお書き下さい。尚、本募集は、平成27年度の能楽協会主催シンポジウムでの、近藤誠一様(元文化庁長官)のご提言を受けて実施致します。皆様からのご応募を心からお待ちしております。

応募要項

応募区分

- ①中学生・高校生の部 ②一般(大学生以上)の部
③英語のネイティブスピーカー、又はそれに準じる方の部

作文のテーマ

「能楽の国際化」について ※以下テーマ例を参考に、自由にお書き下さい。
例・能楽を世界に広める為には、どのような方法があるか。
・訪日外国人に向けて、どのように能楽の魅力を伝え、紹介するのが良いか。
・能楽の魅力をより強く発信していく為に、能楽界が取り組むべきこと。

字数

500~700 ワードを目安に

応募締切

平成29年11月2日(木) 必着

応募方法

「公益社団法人能楽協会」までお送り下さい。
E-mail: entry-nohgaku@nohgaku.or.jp
※郵送でも可(但し、タイプ打ちのみ可。手書きは不可)
◆以下①~⑥も必ず明記して下さい。
①氏名(ふりがな) ②応募区分 ③年齢(学生の場合は学校名、学年)
④性別 ⑤郵便番号、住所 ⑥電話番号、FAX、E-mail

表彰

各部より最優秀作を表彰致します(賞状と賞品を授与)。
尚、各部の最優秀賞受賞者より一名を能楽協会にて選定し、平成30年1月26日(金)
国立能楽堂(東京)にて開催の「能楽フェスティバル2017-2020」第3回シンポジウム
(18時30分開演)において表彰、及び自身の作文を能舞台上にてスピーチ頂く予定です。

公表等

最優秀作品については、応募者の氏名(学生の場合は学校名・学年も)を公表すると共に、
能楽協会公式サイトや1/26シンポジウムに関する広報等で、作品内容を公表します。

◆審査員◆



近藤誠一(元文化庁長官
近藤文化外交研究所代表)



石ハートトキヤンヘル
(国文学研究資料館長)



山中 玲子
(法政大学能楽研究所所長)

推奨公演のご案内

- ・平成29年10月6日(金)「第14回 ユネスコ記念能」(開演18時45分)
・能楽協会公式サイト内、公演情報Webページ <http://www.nohgaku.or.jp/playinginfo/index.html>

■「能楽」について

「能」と「狂言」から成り、室町時代より650年以上上演し受け継がれてきた、日本を代表的する舞台芸術です。
平成13年には、バリのユネスコ本部において、「人類の口承及び無形遺産の傑作の宣言」の第一回傑作として選ばれ、後世に伝えるべき貴重な人類の財産として、広く認識されるようになりました。
詳しい能楽の歴史や舞台については、公益社団法人能楽協会公式サイト内、「能楽事典」をご参照下さい。 <http://www.nohgaku.or.jp/encyclopedia/index.html>